

## 第3章 計画の基本的な考え方 (案)

### 1 本市教育のめざす姿

#### 【めざすまちの姿】

#### 教育のまち 日本一

私たちのまち防府は、自然・歴史・文化、産業、そして人という財産を有し、多くの学びの機会に恵まれた、教育を大切にするまちです。

このまちでは、誰もが生涯にわたり楽しく学び続ける中で、学んだことを様々な方法で表現し、自己実現を果たすことができます。このまちの子どもたちは、このような環境のもとで、まち全体でしっかりと見守られ、育っていきます。その教育的風土は、日本のどのまちにも負けません。

そんな教育のまちづくりを、学校・家庭・地域が協働して、まち全体で進めていきます。

#### ※歴史と文化について

防府は、菅原道真公を祀る防府天満宮の門前町として栄えてきたまちである。

904年に建立された防府天満宮は、全国に12,000を数える天満宮・天神様の中で、日本最初の社であると言われている。人々はそれを誇りとし、心のよりどころの一つとするとともに、「学問の神様」と呼んで畏敬しており、そのような人たちがくらす防府のまちは、学ぶことを何よりも大切にしてきた教育的風土の高い地である。

このまちで学ぶ中で、自立した人間として主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値の創造に努めます。そして、誰もがそれぞれに活躍し、安心して暮らせる社会とその社会の持続的成長・発展をめざします。 国 2030年以降 教育政策の重点事項

#### 【めざす人の姿】

##### 【現計画】

- ・夢をもち、学び続ける人
- ・たくましさとしなやかさを備えた人
- ・ふるさとに誇りと愛着をもつ人

#### 学びを楽しみ、変化に立ち向かう人

人工知能(AI)が飛躍的に進化し、先端技術が社会生活に浸透する未来が、すぐそこにまで来ている。映画(SF)の世界でしかあり得なかったことが現実に目にできる世の中になりつつある。

予測が不可能と言われる未来社会を、主体的に生き抜くためには、これらの変化に正面から立ち向かう気持ちと、市民の一人ひとりが夢や希望、志を常に胸に抱き、その実現に向けて、様々な方法で学び続けることが大切であり、その成果を社会や地域に活かしていくことを楽しむ気持ちをもつことが、さらに次への励みとなる。

そのため、学校教育では、これらの変化を前向きに受け止め、主体的に向き合い・関わり合い、他者と協働して課題を解決していくことや、情報過多の状況でも冷静に分析し、新たな価値につなげたり、再構築したりできる子どもの育成が求められてきている。

学校教育で培った豊かな学びを基盤にして、多様な学びを楽しく継続し、世の中の変化に柔軟に対応して、誇り高く何事にも立ち向かう人に未来を託します。

## 強さと優しさを備え、他者と協働して(未来社会)創造していく人

変化の激しいこれからの時代を生き抜くためには、様々な困難に直面しても諦めることなく、豊かな知識と経験とでその状況に対応していくたくましさ（強さ）と、周囲との関係を良好に保ち、相手を尊重して気持ちよく協働できる優しさや柔軟性を持つことが大切である。

困難な状況を乗り越えていく経験を積むたびに、失敗であってもそれを経験として捉え、粘り強く取り組み続けることが、達成感へと繋がるのである。さらには、他の人の心の痛みやそれぞれの思いを受け止めることで、共に生き抜いていくことへの喜びも感じることができる。優しさは次々に周囲へと広がり、人と人とのつながりもできてくる。多くの人とつながり、意見を受け入れながら困難な状況を共に克服していくことで、安心して豊かな社会が創られていくのである。

## ふるさとを愛し、未来につなぐ人

この街に住む人は、このまちを好きになってほしい。自然を肌で感じ、素晴らしき先人、重要な建造物や遺跡等の歴史や文化を学び、このまちを誇りに思ってもらいたい。そしてふるさとと防府のことをしっかりと理解し、様々な形で発信してほしい。

過去と未来の中で、今というつながりの中の一人であるという意識のもと、次世代にバトンをつないでいく使命があることを認識することが重要である。防府市の発展に寄与し、今以上に豊かな町へと発展させていく人材の育成を進めていくことが大切である。

そのためには、地域のつながりを大切にし、地域の人から学び、良さや課題を共有しながら解決への道筋を立てていく人材の育成が喫緊の課題である。産業の発展と地域の発展とを結びつけながら、人々が暮らしやすさを肌で感じるまちづくりが進められていくべきである。

ふるさとへの誇りと愛着を持ち、伝統を重んじ文化を継承しながら、将来にわたって発展し続けるまちづくりに貢献できる人が必要です。

## 2 基本目標

### 【現計画】

「主体的にたくましく生き抜く力」と「豊かな人間性」を備えた人材の育成

## 21世紀をたくましく生き抜く人材の育成

### （たくましさ）

様々な現代的課題に対して、粘り強く何度も挑戦していくことが大切である。それらは決して簡単には解決できない。失敗や挫折を繰り返しながらも、それらを経験として捉えて積み重ね、挑戦し続けなければならない。身体的なたくましさや豊かな心に支えられた精神的なたくましさが必要である。

### （生き抜く）

ただ単に生きるのではなく、主体的に生きる、そしてそれを貫くところに生き抜くの意味がある。日常の課題に対して、それを自分事として捉え、自立した社会の一員として、他者と関わり合いながら取り組むことが大切である。AIやIoT等の先端技術が高度化し、超スマート社会と言われる Society5.0の時代が到来しようとも、人と人が関わることは重要である。他者と協働して取り組んでいくことが明るい未来へ繋がっていく。

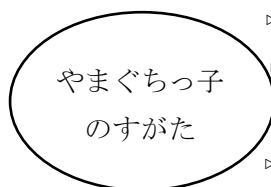
自分だけでなく周りの人の人生も含めて、主体的によりよい方向へと進み続けるという強い思いが、生き抜くという言葉には込められている。

## 参 考

### 山口県教育振興基本計画 (2018～2022)

#### 教育目標

未来を拓く たくましい「やまぐちっ子」の育成

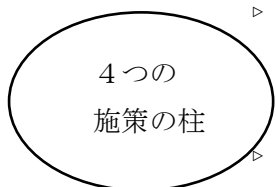


- ▷ 高い志を持ち、未来に向かって挑戦し続ける人
- ▷ 知・徳・体の調和のとれた生き方を身につけるとともに、他者と協働しながら力強く生きていく人
- ▷ 郷土に誇りと愛着をもち、グローバルな視点で社会に参画する人

#### 目標達成に向けて

3つの力（学ぶ力、作る力、生き抜く力） 3つの心（広い心、温かい心、燃える心）

#### 施策の展開 総合的・計画的な施策の推進



- ▷ 知・徳・体の調和のとれた教育の推進
- ▷ 学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進
- ▷ 生涯を通じた学びの充実
- ▷ 豊かな学びを支える教育環境の充実

### 防府市教育振興基本計画 (令和2年度まで)

#### めざすまちの姿

教育のまち 日本一

#### めざす人の姿

- ・ 学び 夢をもち、学び続ける人
- ・ ころろ たくましさとしなやかさを備えた人
- ・ 郷土愛、社会 郷土に誇りと愛着を持つ人

#### 基本目標

「主体的にたくましく生き抜く力」と  
「豊かな人間性」を備えた人材の育成

#### 施策の柱

- I 知・徳・体のバランスのとれた教育活動の推進
- II 地域ぐるみの教育の推進
- III 安心・安全で、質の高い教育環境づくりの推進
- IV 一人ひとりがきらめく生涯学習の推進
- V 郷土の文化・伝統の継承と創造の推進